

ROYAL-TIMES

—ロイヤルホームの新しい生活—



写真= 1F サクラ (2023年3月20日)

春を先取り

岡 聖史
2023年 4月 15日

朝の空気が心地よくなりました。春の訪れを感じながら桜を楽しみ、気が付けば綺麗な新芽の葉で木々が覆われるようになりました。

春は新たな始まりの季節でもあります。新年度がスタートし、新しい職場や学校に緊張しながらも身を置く方々もいらっしゃるかもしれません。しかし、春の訪れは単に新たな始まりだけではありません。暖かな季節になることで人々の心も温かくなり、前向きな気持ちになると言われています。今年新型コロナウイルスも5類となり人々の行動も活発になることが予想されます。春の訪れとともにロイヤルホームでも新たなスタートを切りたいと思っています。



写真=今年のお野菜 (2023年4月28日)
ゴーヤと胡瓜の苗。他にトマトやスナップエンドウも栽培中です。



写真= 川沿いの桜を (2023年 3月 24日)

春と桜と理学療法

近藤 弘成
2023年5月12日

風薫る清々しい季節となりました。今年は春が一気に過ぎ去ったかのようで、先日の長期連休は初夏を思わせる様な気候でしたが、桜の時期は短かったですが、ロイヤルホームの窓からは川辺の丘陵にピンクから白色の数種類の山桜が時期をずらしながら満開を迎え、十何日に渡って桜の移ろいを楽しむ事が出来ました。

日々変わっていく光景は「わぁ綺麗」「今日はあそこ(丘陵)まで散歩行こうかしら」と口調も朝から弾むようでした。そして最後に満開を迎えたソメイヨシノ。何名か利用者をお連れして川辺の散歩を行いました。一般的に散歩は特に決められた方法やルールは無く、年齢・環境・工程など非常に個人や環境によって変化に富んだ行

動とされています。そのため幅広い多様性を有していると捉えられるようです。加えて理学療法では筋力の強化、脳の活性化、リラックス効果、免疫機能の増進など多様な効果が期待されています。皆様には、比較的歩きやすい川辺の遊歩道にて散歩を楽しんで頂きましたが、太陽や風を浴びて気持ちよさそうに目を細められていました。今年は風が強い日が多く、花が散るのも早かったのですが、そのおかげでたくさんの桜の花びらで出来た花筏も見られ、何気ない自然の千変万化な景色を提供出来たような気がいたします。今年は何気なくとも変化に富んだりハビリやレク企画を立てて行こうと考えております。

今月のトピック

- # 春と桜と理学療法
- # チューリップ!
- # 委員会活動報告(法人危機管理部)
- # スタッフ紹介

チューリップ！

平川 昌史
2023年5月3日

ロイヤルホームにはご入居者に安全に自然と触れ合っていたいただける4階庭園がございます。四季折々の草花や野菜などを栽培し目の保養や時には取り立ての野菜などを調理して“食の保養”にも一役かってくれております。

花では今年もチューリップを昨年12月中旬位に150本ほど植え写真の様に様々な色の花を咲かせご入居者様だけでなく職員までも



春の訪れを感じさせていただきました。草花のお世話をいただいているご入居者様にきれいな花を咲かせるコツをお聞きすると「チューリップは水が好きなので水をきらさないことが大事」と教えていただき、花もきれいに咲かせるためには手間を惜しんではいけないのだと教えていただきました。

最後にチューリップの花言葉は「思いやり」ということで、きれいに咲いたチューリップは私たちに「思いやりを大切にしてください」と教えてくれているのだと毎年感じる事が出来ています。



おしらせ

リハビリテーション実施計画書の書式が変更となります。名称も「個別機能訓練計画書」となります。新しい書式のポイントは、日常生活にどの程度介助を要しているのか、リハビリはどの程度行われているのか、リハビリの内容は何かの3点に焦点を併せました。詳しくは、別紙にてご確認をお願いいたします。

スタッフ紹介

2023年 5月 1日



振り返り

岡 聖史
2023年 5月 8日

カスタマーハラスメントについて新聞やテレビで取り上げられることが多くなりました。過去には「接遇の良い企業が業績を伸ばしている」と言われ、各企業のサービスも激化したのではないのでしょうか。利用者>提供者といった力関係を作っているのは提供者側なのかもしれませんが、相互理解を深めて利用者＝提供者の関係が作れる企業が生き残れるのだと改めて感じました。

委員会活動報告（総生会 危機管理部）

岡 聖史
2023年 5月 8日

法人危機管理部は、総生会の5事業所から選出されたスタッフで構成される、横断型委員会です。活動内容は、災害班と救急班の2つの班に分かれて行われています。災害班は、災害時を想定した訓練や情報収集・道具等の準備を行い、様々な災害に直面しても対応できる体制を構築しています。

一方、救急班では法人内の心肺蘇生技

術研修、救急時の各種道具の整理・整備、研修動画をYouTubeにて限定配信、アンケート等活動を行っています。

ロイヤルホームのように、高齢者施設では医師が常駐している事は非常にまれです。その為、ご入居者様の急な様態の変化があっても適切に対応できる知識と技術が必要と考えます。また、迅速かつ適切な対応はロイヤルホームだけに限らず、リハビリ総合病院や、

麻生総合病院においても同様に求められます。その為の技術面の研修や知識の充填、道具の整備を危機管理部の活動を通じて行っています。

現在はInstagramの動画で法人危機管理部の活動を確認できます。また、「誰でもできる心肺蘇生法」の動画も上げていますので、是非ご覧いただけたらと思います。